

名古屋大学高等教育研究センター 第54回客員教授セミナー

北京大学における元培プログラムの意義 —大学生の学習を促進するための一般教育改革—

陳 向明 氏

北京大学教育学院教授

講演概要

学士課程における一般教育の重要性は広く知られているが、どのような学生を対象として、どのような教育モデルを適用すればよいのだろうか。本セミナーでは、中国の大学における一般教育改革の事例として、北京大学の「元培プログラム」を紹介する。

北京大学ではすべての学士課程学生が一般教育を受ける仕組みになっており、さらに大学本部直轄で小規模の実験ベースの「元培学院」を設立している。名称は北京大学の元学長で著名な教育者である蔡元培(1868-1940)にちなんだものである。この学院が提供する元培プログラムの学生は、専門分野や履修する授業を入学後に自由に決めることができる。北京大学がどのような一般教育を実施すべきかという全学的な合意形成はできていないが、同プログラムはおしなべて良好な成果を出している。同時に、構造的な制約や運営上の課題も存在する。中国高等教育独自の一般教育モデルをどう開発するかという観点から、これらの課題を克服する方法を検討したい。

日時：12月7日(火)

16時30分～18時00分

場所：名古屋大学 東山キャンパス
文系総合館7階オープンホール

お問い合わせ：

西原 志保 (内線5696)

info@cshe.nagoya-u.ac.jp

本セミナーはコンソーシアム事業の一環として実施するものです